

令和6年第1回定例会 提案理由説明書（二月二十九日追加提案）

ただ今追加提案しました議案は、第四十八号議案から第六十号議案までの十三件であります。

その主なものとして、第四十八号議案 令和五年度大分県一般会計補正予算（第四号）について説明申し上げます。

（賃金と物価の好循環の創出）

物価が継続的に上昇する中、これから春季労使交渉が本格化していきます。県では、物価上昇を上回る賃金引上げの実現に向けて、賃上げ枠の設定など独自の対策を強力で推進するとともに、労務費の円滑な価格転嫁の促進に全力で取り組んでいるところです。本日開催される政労使会議においても、改めて積極的な検討をお願いしたいと考えています。

他方、物価高騰の影響を大きく受けている方々への対応も大事です。これまで、国の支援制度を補完すべく、公的価格として利用料金が定められている福祉・医療施設などの電気代等をはじめ、様々な負担軽減策を講じてきました。そのような中、公教育の一翼を担う私立大学等では、こうした運営経費の増を授業料に転嫁することは難しく、経営が逼迫しています。このため、今回、光熱費高騰分の一部を助成し、教育・研究活動を支えてまいります。また、畜産でも、飼料価格の高止まりにより、厳しい状況が続いていることから、自給飼料の生産拡大に挑戦する農家を応援することで、経営の安定化を図ります。

（県観光の復活）

こうして賃金と物価の好循環を創出しながら、裾野の広い産業である県観光の復活を目指しています。福岡・大分デスティネーションキャンペーンの成功に向け、今月は、JR大阪駅のアトリウム広場において、市町村や民間事業者とともに観光フェアを開催し、本県の魅力をPRしてきました。さらに、開始まであと一か月となる明日以降は、JRグループの重点宣伝地域となることから、全国各地で大々的な広報を展開し、ラストスパートをかけていきます。

今後は、こうした情報発信を継続しながら、実際の誘客につなげるとともに、訪れた旅行者に県内を周遊していただき、キャンペーンの効果を県全体に波及させていくことが重要です。そのため、予定していた宿泊クーポン等の発行を見直し、送客実績に応じて旅行会社を支援するほか、宿泊予約サイトと連携したポイント還元プロモーションを実施します。加えて、県内主要宿泊地からのバスツアー造成や着地型商品の販売にも力を入れる観光関係者を支援するなどして、取り組んでまいります。

（安心・元気・未来創造の大分県づくり）

次に、昨年末の国の経済対策に呼応した諸施策についてです。本県では、すでに国土強靱化五か年加速化対策など、大部分を前倒しして受け入れ、事業に着手していますが、今回はこれに続くものを計上し、安心・元気・未来創造の大分県づくりを進めます。

安心の分野では、まず、すべてのこどもが健やかに生まれ育つことができる環境整備

に努めます。生まれつき代謝異常などの疾患を持つ新生児を早期に発見し、その後の治療につなげるため、治療法が確立した疾患について、公費負担で行う血液検査の対象に追加します。また、介護職員の働きやすい職場環境づくりも急ぎます。要望の多い介護ロボットなどの導入に対する助成枠を大幅に拡大することにより、職員の負担軽減を図る事業所を後押しします。

元気分野においては、農林水産業の成長産業化を加速させるため、ねぎやベリーの参入企業が行うハウス整備をはじめ、大径材加工拠点の設置や林業専用道の整備等への支援を前倒して実施します。

未来創造では、県立高校でのデジタル等成長分野を支える人材育成を強化します。高性能パソコンや3Dプリンターなどを配備し、ICT機器を活用した生徒の興味関心を高める学習環境を充実させます。

(補正予算の額)

以上が歳出の主な増額分ですが、他方、新型コロナウイルス感染症関連予算や執行段階における節約等を減額した結果、補正予算額の合計は、三百六十二億四千四百十六万四千円の減額となります。

このほか、特別会計では、公債管理特別会計など十一の会計で、二十六億五千四百五十二万円を増額するとともに、病院事業会計でも八億七千二百六万九千円を増額します。

以上をもちまして、提出しました議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議の上、御賛同いただきますようお願い申し上げます。